

資料 3

平成29年度 白神山地周辺の森林と人との共生活動に関する協議会

平成29年4月26日
林 政 課

松くい虫被害及びナラ枯れ被害の防除対策について

平成27年7月以降深浦町で発生している松くい虫被害と、昨年深浦町で発生したナラ枯れ被害について、それぞれの媒介昆虫であるマツノマダラカミキリとカシノナガキクイムシが、羽化・脱出し活動を開始する6月中旬までの対策が、特に重要となっていますので、県民への周知について御協力をお願いします。

1 平成28年度の被害発生状況

(1) 松くい虫被害

平成28年シーズン（平成28年7月から平成29年6月）に確認された被害木は、3月末現在、民有林50本と国有林1本の計51本となっています。

また、被害地域は、平成27年度に被害が発生した深浦町広戸・追良瀬地区の概ね半径2キロメートルの範囲内に留まっています。

地 区		H27シーズン (H27.7~H28.6)	H28シーズン (H28.7~H29.6)
広戸・ 追良瀬	民有林	68本	50本
	国有林	—	1本
計		68本	51本

(H28 シーズンは平成29年3月末現在)



松くい虫被害の状況



マツノマダラカミキリ

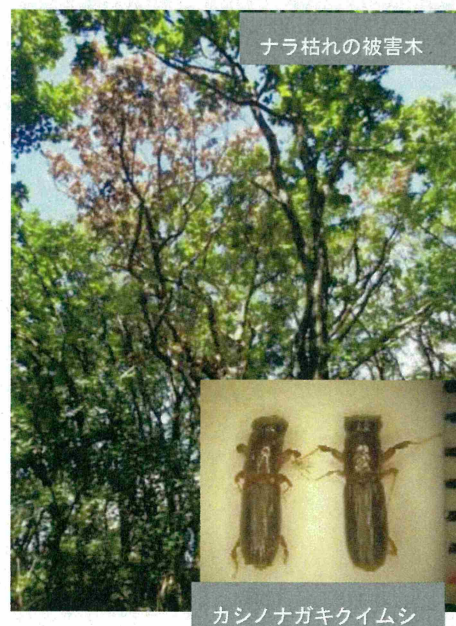
(2) ナラ枯れ被害

昨年10月以降、民有林で確認された被害木は、3月末現在、深浦町大間越地区、松神地区、岡崎地区、麩木地区で計19本となっています。

なお、国有林では被害木を62本確認しており、県内の被害木は累計で81本となっています。

地 区	民有林	国有林	計
大間越	7本	53本	60本
松 神	10本	9本	19本
岡 崎	1本	—	1本
麩 木	1本	—	1本
計	19本	62本	81本

(平成29年3月末現在)



ナラ枯れの被害木



カシノナガキクイムシ

2 平成29年度の対策

(1) 全県における対策

- ①松くい虫防除監視員等による巡視活動
- ②媒介昆虫の生息調査
- ③各種広報媒体を用いた枯死木等の情報収集や住民理解の醸成

(2) 西海岸地域における対策

- ①県防災ヘリコプターによる上空探査
- ②デジタル航空写真撮影

(3) 深浦町における対策

マツノマダラカミキリが羽化・脱出し活動を開始する前の**4月から6月までの3か月間を「松くい虫被害防除対策強化期間」に設定**し、次の対策を徹底します。

- ①特別巡視員による監視活動
- ②ドローンを用いた上空探査
- ③ヤニ打ち調査による潜在被害木の探査
- ④発見した被害木等を早期に伐倒・くん蒸処理

3 県民へのお願い事項

松くい虫被害やナラ枯れ被害が、拡大すると、農林水産業をはじめとする産業・経済のほか、本県が誇る自然景観や観光資源などに大きな影響を与えます。

このため、以下の3点について県民の皆様の御協力をお願いします。

(1) **6月から9月の間はマツ・ナラを伐採しない**

マツノマダラカミキリとカシノナガキクイムシは、それぞれマツとナラを伐採した際に発生する臭いに集まる習性があるため、これらの昆虫の活動期(6～9月)には、マツとナラを伐採しないようにしましょう。

(2) **マツやナラを県外から持ち込まない**

マツ丸太やマツ苗木、ナラ丸太を他県から持ち込むと、県内に松くい虫被害やナラ枯れ被害を呼び込む可能性があるため、県内産のものを利用しましょう。

(3) **枯れたマツやナラを見つけたら連絡**

松くい虫被害やナラ枯れ被害を防ぐためには、葉が黄色に変色したり、枯れたマツやナラを早い段階で取り除くことが大切です。

自宅の庭木や街路樹、山林など、身の回りで枯れている、または枯れかかっているマツやナラを見つけたら、市町村役場、最寄りの地域県民局林業振興課、森林組合までお知らせください。

H28 松くい虫被害及びナラ枯れ被害の発生位置図

